

常任委員会報告

6月16日の本会議において、各常任委員会に付託された議案審査は、慎重な審査の結果、全議案について可決した。

総務常任委員会（6月18日）

質問 議案第43号令和3年度小城市一般会計補正予算第4号のうち（仮称）小城フットボールセンター整備事業について、排水対策は十分か、また経済効果の見込みは。

答弁 今の計画では難しい。排水対策委員会、コンサル、庁内関係部署と協議している。経済効果については年間約5億9,300万円を見込んでいる。

質問 議案第43号のうち（新規）庁舎防災機能強化事業について、①現在の電力会社との契約は②事業採択はいつか、交付決定を受けて予算計上すべきでは、また交付申請額は③公告の際上限額を設けなかった理由④補助対象部分、補助対象外部分を把握して公募要件を示すべき⑤今回期間が短すぎる。もっと慎重にすべき。

答弁 ①変更契約を行う。違約金は発生しない。

②4月末に申請し6月に採択。予算議決後に正式申請する。期間がタイトだったため解除型という条項を設けた。補助金の上限額は2億9,866万4千円。③トータルコストで有利な提案を選択するため④1月に公告する際は環境省への確認ができておらず、しっかりと準備すべきだったと反省している。⑤期間的に余裕がなかったが、国庫支出金の活用や有利な起債活用で知恵を絞った。今後とも支出を抑えるため検討を重ねたい。

付帯決議（新規）庁舎防災機能強化事業については、「補助対象外経費が多くを占めており、全体事業について十分に精査し縮減を図ること」という内容の付帯決議を付した。

文教厚生常任委員会（6月22日）

質問 議案第42号多久小城市医療組合の設立について、現在小城市民病院は地方公営企業法の全部適用、多久市立病院は一部適用と異なるが、統合する際にスムーズに移行できるのか。

答弁 人事交流等による情報交換を行いながら、開院時にスムーズに全部適用に移行できるようにしたい。

質問 議案第43号令和3年度小城市一般会計補正予算（第4号）について、「ゆめりあ」と「アイル」の券売機をキャッシュレス対応機に更新することだが、どのような券売機か。

答弁 電子マネー、ペイペイ、QRコード対応、クレジットカード決済ができ、現金にも対応する。

質問 議案第43号について、スマホなんでも相談事業は1コマ当たり2万3千円の費用がかかっており、高過ぎないか。

答弁 SE程度の専門職を検討しており、初心者にも対応し、機種も限定されない。旅費と経費込みで1日当たり14万6千円に消費税がかかる。



▲多久市立病院との統合準備が進む小城市民病院

産業建設常任委員会（6月21日）

質問 議案第43号一般会計補正予算（第4号）について、「新規」タクシー観光実施助成事業の商品開発は、助成額の10万円に含まれるのか、事業は何処かを参考にしたか、独自で考え出したのか。

答弁 商品開発はコースの設定が成果で、小城市、観光協会、ボランティアガイド、事業者の4者で小城市の新たな観光コースの設定を展開したい。今回の10万円には、講座の受講に関するドライバーの拘束時間も含め、商品開発、コース設定をし簡易的なパンフレット作成まで入っている。

質問 牛津駅前広場整備事業の都市再生整備計画は2回目の変更をされたものか、整備の場所は北か南か、何をするのか。

答弁 変更は昨年の9月頃に2回目の変更で、整備の場所は牛津駅の北口のロータリーから駐輪場付近を含めて、今後計画をしていきたい。賑わいを誘導するイベント広場等として活用できるようなバリアフリー化等を考えていく。



▲牛津駅前広場